

大学院研究論文指導教員/専門分野と研究

大学院の受験をご希望の方は教育研究領域と教員（全員が看護有資格者）を選んでください。
お問い合わせ先：人間環境大学事務局（窓口：朝田）代表電話 0564-48-7811 または e-mail
kangojimu@uhe.ac.jp へご連絡ください。電話、e-mail をお待ちしております。

分野	教 員	専門看護学領域
看護教育管理学分野	小笠原 知枝 (Chie Ogasawara) 教授、医学博士、教育学修士 教育担当：博士前期・後期課程	教育研究：「看護教育学領域」 研究テーマ：1) 批判的思考能力や看護実践能力育成と教育方略、2) 看護実習環境と実習指導、3) 教育評価、4) 教育プログラムの開発 5) 看護診断の妥当性及び正確性 6) 尺度開発研究 研究方法：調査研究、教育介入研究など
	篠崎 恵美子 (Emiko Shinozaki) 教授、博士(看護学) 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程	教育研究：「看護教育学領域」 研究テーマ：看護実践能力を高める教育内容・方法・教材の開発 1) フィジカルアセスメント教育、インタラクティブ・コンピュータ・インストールを用いた教材開発 2) ヘルスケアにおけるコミュニケーション 3) 技術教育方法、シミュレーション、模擬患者など 研究方法：量的研究を主とする
	伊藤 千晴 (Chiharu Ito) 准教授、博士(看護学) 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程	教育研究：「看護教育学領域」 研究テーマ：1) 基礎看護学教育に関する看護倫理教育 2) 新人看護師における看護倫理教育 3) 臨床現場における倫理的問題に関する研究 など 研究方法：調査研究、面接法 など
	藤原 奈佳子 (Nakako Fujiwara) 教授、医学博士 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程	教育研究：「看護保健管理学領域」 研究テーマ：1) 看護記録を活用した生活支援システム 2) 多職種連携と協働、3) 病院の機能分化をふまえたヘルスケアシステム など 研究方法：組織や個人のニーズを明確にするための質問紙調査、既存資料を用いた調査研究、看護実践評価のための介入前後比較研究、関係探索研究 など
発達看護学分野	森 美智子 (Michiko Mori) 教授、医学博士 教育担当：博士前期・後期課程	教育研究：「小児看護学領域」 研究テーマ：1) 発達心理・学習心理からみた発達看護とスケール開発 2) 小児がんなど慢性疾患のケア・長期フォローアップ 3) 予後に重大な影響を及ぼす小児急性期疾患および疼痛のケア 4) 患児と家族のケアプログラム開発 研究方法：観察法 など、各種調査研究を主に、内容分析・量的分析、研究デザインとして縦断的・横断的研究、コホート・介入・事例研究 など
	倉田 節子 (Setsuko Kurata) 教授、博士(保健学) 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程	教育研究：「小児看護学領域」 研究テーマ：1) 小児看護に携わる看護師への教育支援 2) 小児看護における人材育成とキャリア支援 3) 小児看護に携わる看護師の高度専門職への探究 4) 小児と家族への看護実践の質評価 など 研究方法：調査研究(面接、質問紙)、尺度開発・プログラム開発を目指した調査・介入研究
	田中 久子 (Hisako Tanaka) 准教授、博士(看護学) 教育担当：看護学部、博士前期課程	教育研究：「小児看護学領域」 研究テーマ：新生児集中ケア、小児救急看護、子育て支援に関する研究 1) ハイリスク新生児と家族のケア 2) NICUにおける親・家族の協働とケア 3) 先天奇形をもつ子どもの親の出産および子どもに対する反応モデルの信頼性・妥当性の検討とケアプログラムの開発 4) 大学が発信する他学部・看護学部学生共同参画の子育て支援プログラム開発など 研究方法：質的記述的研究
	内籾 直子 (Naoko Naitoh) 教授、医学博士 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程	教育研究：「リプロダクティブ・ヘルス看護学領域」 研究テーマ：1) リプロダクティブ・ヘルスから周産期や子育て期女性ケアと支援 2) 女性のケア評価 3) 産婦リラックスケアのプログラム開発 4) 不妊女性と低出生体重児の家族看護 5) 世界のお産文化と助産史など 研究方法：ナラティブ法、グランデットセオリ、準実験・介入研究、歴史研究、質的な調査研究・尺度開発法、質的量的ミックス法など

成人・高齢者看護学分野	<p>柴山 健三 (Kenzo Shibayama) 准教授、博士 (医学) 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程</p>	<p>教育研究：「クリティカル・ケア看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 心血管疾患患者の急性期および在宅治療期の QOL, 生活習慣, 自己効力感に関する研究 2) クリティカル・ケア患者の観察評価, 気管挿管患者への看護評価に関する研究 3) プレホスピタル時患者の観察に関する研究 など 研究方法：調査票および生理・生化学的検査を使用した量的研究、介入研究 など</p>
	<p>小笠原 知枝 (Chie Ogasawara) 教授、医学博士、教育学修士 教育担当：博士前期・後期課程</p>	<p>教育研究：「エンド・オブ・ライフケア看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 終末期患者と家族のニーズとケア 2) がん末期患者の疼痛評価とバリア 3) エンド・オブ・ライフケアプログラム及びシステム開発 4) 症状マネジメントと評価 5) 看取りケアの教育介入と評価、 研究方法：事例研究や調査研究及び介入研究など</p>
	<p>島内 節 (Setsu Shimanouchi) 教授、学部長、研究科長、医学博士 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程</p>	<p>教育研究：「エンド・オブ・ライフケア看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 在宅における患者と家族を単位としたエンド・オブ・ライフケア 2) エンド・オブ・ライフケアのプログラム開発 3) ケアニーズとアウトカム評価 4) 病院から在宅ケアへの移行支援 5) ケアシステム開発 6) 緊急ニーズの発生予防とケア 7) 社会資源利用 8) チームケア 研究方法：事例調査を主として介入研究・RCT・コホートなど</p>
	<p>臼井 キミカ (Kimika Usui) 教授、社会福祉学修士 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程</p>	<p>教育研究：「高齢者看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 重度認知症高齢者の日常生活支援技術・研修プログラム開発 2) 軽度認知症高齢者の支援活動評価 3) 養護者による高齢者虐待の要因・課題分析 4) 施設など的高齢者虐待防止介入研究 研究方法：量的研究による要因分析や準実験 (介入) 研究方法など</p>
	<p>安藤 純子 (Junko Ando) 教授、博士 (学術) 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程</p>	<p>教育研究：「高齢者看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 高齢者の転倒に関するリスク要因と予防 2) 高齢者の摂食・嚥下障害者に関するケア 3) 終末期の高齢者ケア 研究方法：高齢者の調査研究を主としてコホート研究など</p>
広域看護学分野	<p>島内 節 (Setsu Shimanouchi) 教授、学部長、研究科長、医学博士 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程</p>	<p>教育研究：「在宅看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 在宅終末期ケア、リスク要因や心身症状の予防とケア 2) 在宅ケアプログラム開発、システム開発、アウトカム評価 3) 要介護高齢者の自立支援 4) 在宅への移行ケア 5) 費用対効果 など 研究方法：在宅ケア事例の調査を主として介入研究・RCT・コホートなど</p>
	<p>石井 英子 (Hideko Ishii) 教授、学術修士 教育担当：看護学部、博士前期課程</p>	<p>教育研究：「在宅看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 療養者と家族の QOL の向上に寄与するために、退院支援の体系化 2) 訪問看護ステーションと多機関との連携促進ツールの開発 3) ALS を支えるケアシステム支援に関する研究 研究方法：質的・量的研究</p>
	<p>福田 由紀子 (Yukiko Fukuta) 准教授、体育学修士 教育担当：看護学部、博士前期課程</p>	<p>教育研究：「在宅看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 在宅療養者・家族への健康支援 2) 医療依存度の高い在宅療養者、家族に関する研究 3) 要介護高齢者の自立支援 4) 訪問看護師の教育・研修プログラム など 研究方法：在宅療養者、家族、訪問看護師の調査を主として RCT・コホート・介入など</p>
	<p>津村 智恵子 (Chieko Tsumura) 教授、副学部長、副研究科長、医学博士 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程</p>	<p>教育研究：「地域看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 地域における高齢者虐待への対処・予防 2) 要介護高齢者・障がい者と家族の自立支援・ケアマネジメント 3) 保健医療福祉と住民組織などのネットワーク構築と評価に関する研究 研究方法：量的及び質的研究。統計手法、テキストマイニング分析 など</p>
	<p>三徳 和子 (Kazuko Mitoku) 教授、博士 (都市科学) 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程</p>	<p>教育研究：「地域看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 地域住民の生活習慣病予防 2) 乳幼児虐待予防 3) 難病患者の QOL 4) 認知症予防 5) 要介護高齢者の重度化予防などに関する支援や、施策など制度の在り方に関する研究 研究方法：課題に沿って記述統計、多変量解析などを用いた解析で究明</p>

広域看護学分野	<p>西川 まり子 (Mariko Nishikawa) 教授、Master of Public Health (New York) 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程</p>	<p>教育研究：「国際保健看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 外国人旅行者、留学生を含む訪日外国人のヘルスに対する不安分析やヘルスプロモーションとプログラム開発 2) デジタルアニメーションやゲームを使用したヘルスプロモーション開発 3) 外国人受け入れの病院や施設、スタッフの不安への支援 4) 看護疫学における GIS や自由記述のテキストマイニングを活用した評価や分析 5) 国際看護学の教育プログラム開発など</p> <p>研究方法：やさしいレベルでの世界の主要な文献レビューからはじまる国際的に登録可能なレベルの RCT もしくは介入研究、観察的研究の分析的研究</p>
	<p>郷良 淳子 (Junko Gora) 准教授、博士 (看護学)、精神看護専門看護師 教育担当：看護学部、博士前期・後期課程</p>	<p>教育研究：「精神看護学領域」</p> <p>研究テーマ：1) 児童・思春期のメンタルヘルス及び精神看護に関する研究 2) 精神看護の質向上にむけた看護技術の開発に関する研究 3) 精神保健看護システムの構築に関する研究</p> <p>研究方法：質的データの多角的分析・解釈、記述的研究</p>